



一般社団法人  
水素・燃料電池開発情報センター

Hydrogen & Fuel Cell Development  
Information Center (FCDIC)

FCDIC  
BROCHURE

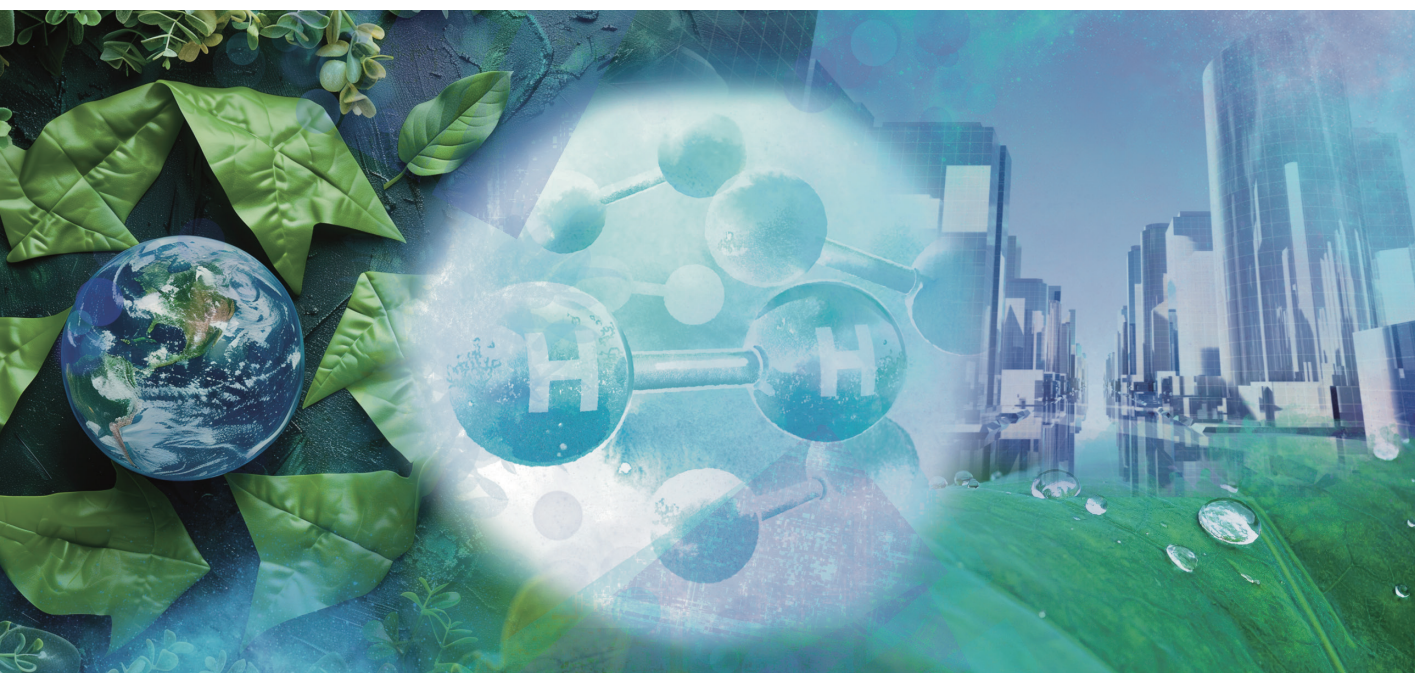
# H2 & FC, all here.

Together, Shaping The Future.

水素・燃料電池のすべてがここに。

世界の水素および燃料電池の最新技術と動向が  
すべて分かる

一般社団法人水素・燃料電池開発情報センター（FCDIC）は、1986年7月に設立された学術団体です。私たちは皆さまのご支援のもとに2026年に40周年を迎えることができました。



## HYDROGEN / FUEL CELL WORLD

### 広がる水素・燃料電池の可能性

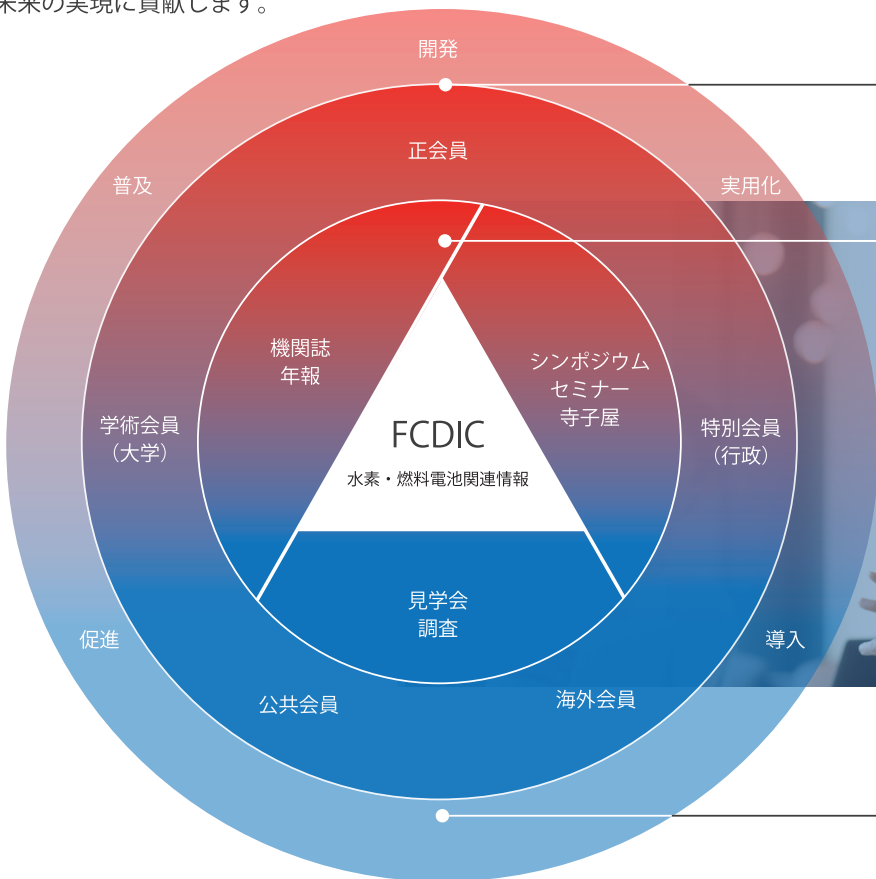
燃料電池は、水素と酸素の化学反応によって電気を生み出すクリーンな発電技術で、CO<sub>2</sub>排出がほぼゼロ。各国が水素インフラ整備を進めており、国際的な協調によるエネルギー転換が進行しています。市場規模の拡大が目覚ましい水素および燃料電池の未来は単なる技術ではなく「持続可能な社会の基盤」として機能する存在になることが期待できます。



# OUR MISSION

## FCDIC の使命

燃料電池の未来を拓くため、FCDIC は燃料電池の技術開発および燃料電池システムの導入・普及を促進することを目的とする機関として設立されました。さらに水素関連技術も加え水素および燃料電池に関わる情報の共有と発信に注力することで、持続可能な未来の実現に貢献します。



### MEMBERSHIP

企業・各種団体・研究者に向けて、その情報を提供し、研究開発や事業活動に活かせる形で届けます。

### FCDIC

FCDIC が国内外の研究成果や最新技術に加えて政策動向を収集・整理し、信頼性のある情報を生み出します。

### SOCIETY

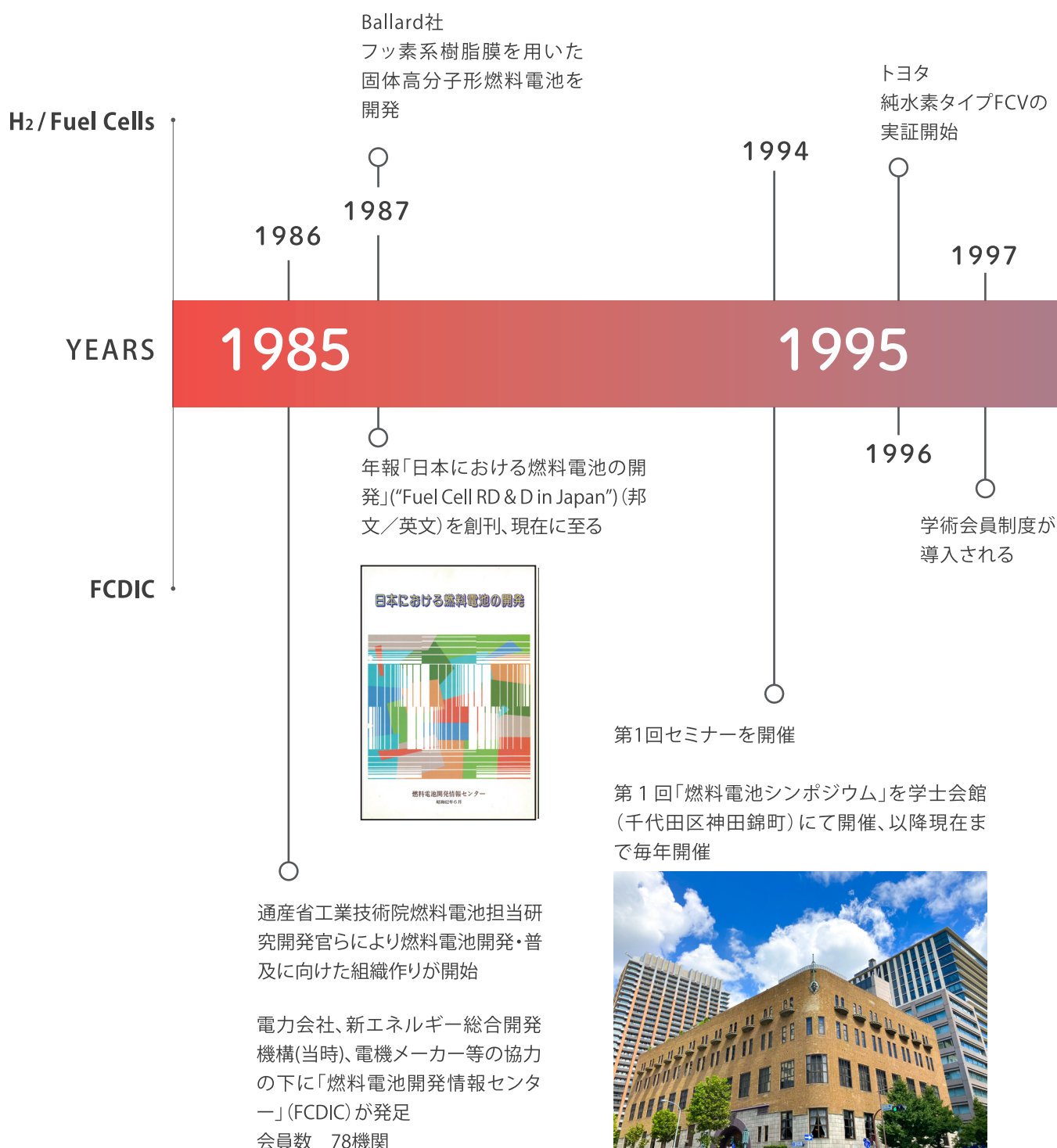
会員の活動を通じて技術が社会に広まり人々の暮らしや産業に還元されます。



# HISTORY OF FCDIC

## FCDIC の歩み

水素および燃料電池の普及と発展を目指し、設立以来 40 年にわたり活動を続けてきました。その歩みは、日本における水素・燃料電池研究と産業化の歴史とともにあります。



2001

家庭用燃料電池  
エネファーム発売  
開始



2002

トヨタ  
MIRAI 市販開始  
(乗用FCVの商用化)



福島FH2R運転開始(再生エネ  
ルギー由来の大規模水素製造  
施設)

2026

2005

2015

2025

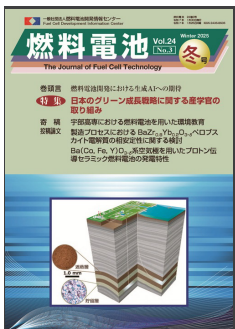
2009

第1回 寺子屋式講習会を開催、  
以降現在まで開催



(2025年現在の写真)

機関誌「燃料電池」(The Journal of  
Fuel Cell Technology)を季刊誌とし  
て創刊、現在に至る)



2014



法人化し、一般社団法人  
燃料電池開発情報センターに  
移行

2020

40周年記念



一般社団法人  
水素・燃料電池  
開発情報センター  
に改称  
会員数101機関  
学会会員77名  
(2025年11月現在)

# OUR ACTIVITIES

## FCDIC の活動内容

水素および燃料電池の研究促進と普及活動を中心に、世界の水素関連事情・最新動向と水素および燃料電池の最新技術が全てわかる取り組みを行っています。ここでは主な取り組み4つと、会員特典についてご紹介します。

### 01. シンポジウム / セミナー

水素・燃料電池シンポジウム、セミナー、講演会、見学会などを定期的で開催。研究者・企業・学生など様々な立場の方にインスピレーションを与えます。



### 02. 刊行物

機関誌「水素・燃料電池」や年報などの刊行物を通じて、最新の研究成果や技術動向を発信。国内外の最新技術や研究成果を広く紹介することで各所での活動を支援します。



### 03. 普及啓発 / 人的交流

水素および燃料電池の仕組みや利点を広く伝えるための寺子屋式講習会を実施。次世代の技術者や研究者の育成に寄与します。また、各種交流会を実施し、人的な交流を活発化させます。



### 04. 会員制度

会員同志による質の高い情報共有を実施。会員限定の講演会や見学会を通じて、専門家同士の知見交換を促進させます。



# MEMBER BENEFITS

## 会員特典

随時、会員を募集しております。  
詳細はQRコードからでも確認することができます。



会員詳細ページ

<https://www.fcdic.jp/admission-information/>



### 無料で刊行物をご提供

- 年報「日本における水素・燃料電池の開発」を無料で配布いたします。(1回/年:冬に発刊)
- 機関誌「水素・燃料電池」を無料で配布いたします。(4回/年:季刊)
- 海外調査報告書配布(適時実施、無料):機関誌への報告とする場合があります。



### 無料で会員限定イベントにご招待

- 研究会(講演会&見学会)へ無料でご参加いただけます。(4回/年)
- 賀詞交歓会、総会後の交流会へ無料でご参加いただけます。(2回/年)



### 特別価格でのご案内

- 水素・燃料電池シンポジウム(FCDIC開催)へ会員価格でご参加いただけます。
- セミナー、寺子屋式講習会(FCDIC開催)へ会員価格でご参加いただけます。

## 募集会員詳細

### 会員種別

正会員：一般企業、団体等

公共会員：公的機関またはそれに属する組織

学会会員：大学・高専・独立行政法人の職員等

### 年会費

正会員：240,000円(入会金なし、不課税)

公共会員：120,000円(入会金なし、不課税)

学会会員：8,000円(入会金なし、不課税)

※入会申込随時(正会員・公共会員の会費は入会月より月割計算)

### 会計年度

7月1日から6月30日



FCDIC：ロゴの起源

1994年にFCDICのロゴマークを制定。真壁輝男氏(当時東京発電(株)、(公社)日本水彩画会元理事長)の原案をベースに制作。中央の白い◇と上下の頂点から出ているそれぞれ2本の白い線の組み合わせは積層セルをイメージしています。また、白い線を外に向かって間隔を拡げているのは発展・広がり、両側の赤と青は燃料と空気をイメージさせます。

## 一般社団法人 水素・燃料電池開発情報センター

代表	東京科学大学名誉教授 岡崎 健
住所	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-19 お茶の水ビジネスビル 1階(101号室)
電話番号	03-6206-0231
FAX	03-6206-0232
HP	<a href="https://www.fcdic.jp">https://www.fcdic.jp</a>
会員申込の連絡先	<a href="https://www.fcdic.jp/contact.php">https://www.fcdic.jp/contact.php</a>
最寄駅	都営新宿線 小川町駅 (A7出口) 千代田線 新御茶ノ水駅 (B3出口) 丸ノ内線 淡路町駅 (A7出口) JR 御茶ノ水駅 (聖橋口)



FCDIC 公式 HP  
<https://www.fcdic.jp>



ANNIVERSARY

発行：2026年